

東京拠点に介護チェーン店展開 新規出店120カ所目論む

さくら介護サービス

介護サービスFC事業の①さくら介護グループ（中区加古町一三十一、二、田本新一社）は、東京を拠点に訪問介護やデイサービスなどの加盟店の拡大を加速する。既存七八カ所（契約済み含む）に加えて、向こう一年で全国（四国を除く）に一三〇カ所を出店し、二〇〇カ所体制にする計画だ。

現在加盟店一〇カ所を数える関東地区は、港区港南に04年3月開設した「東京コンサルテイニングサロン」で、加盟店と加盟店の開発代理店の募集を開始。北海道、東北、北陸、東海の各エリアに代理店一カ所の設置を急ぐ。ライフプロジェクト（北九州市）を代理店とする九州エリアは、加盟店三カ所で1月に稼働し、一年で三六カ所を予定。続いて4月には大阪市内に近畿エリアの代理店を開設する。

グループ本社では、加盟店の経営指導をはじめ介護保険指定許可申請や介護報酬請求の事務代行、スタッフ募集、利用者募集業務など、後方支援を行う。自治体ごとに異なる介護報酬の請求も自社開発の専用ソフトでインターネットを経由して処理するほか、オプシオンで金融機関とタイアップした介護報酬の前払いシステムも用意し、資金面での負担を軽減する。介護のFC展開を開始から五年目の現在、直営八カ所、加盟店は広島を中心に七〇カ所。04年3月期の売上げ三億円、グループ全体五億円を、出店拡大により06年で売上げ七億円、同八億六〇〇〇万円を見込む。